資料１

第３７回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会
第　４　回　総　会

報　告

頁

○　報告事項１：令和元年度事業報告及び収支決算報告について・・　１

○　報告事項２：「第３７回全国都市緑化ひろしまフェア」の
開催状況について・・・・　２

報告事項１

令和元年度事業報告及び収支決算報告について

令和元年度事業報告及び収支決算については、事業及び決算が確定後、令和２年８月３１日に監事による監査をいただいた。

前回第３回総会でのご承認のとおり、事業報告及び収支決算（案）を各委員に送付し、書面による審議を行い、全副会長及び委員からご承認いただいたことを報告する。

報告事項２

「第３７回全国都市緑化ひろしまフェア」の開催状況について

１　概要

第３７回全国都市緑化ひろしまフェア「ひろしま はなのわ ２０２０」（以下、「ひろしまフェア」という。）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による大きな影響を受け、開会式や全国都市緑化祭をはじめとする行催事やイベント等の中止を余儀なくされるとともに、感染拡大の状況を注視しながら適切な感染防止対策を実施するなど、厳しい状況の中での開催・運営となったが、令和２年３月１９日から１１月２３日までの２５０日間、県内一円の各会場には４８３万人を超える多くの方が来場され、広島ならではの花や緑、伝統文化等の地域資源の素晴らしさを再認識するとともに、花や緑に触れることで身も心も癒され、花や緑の力やその大切さを実感していただくことができた。

２　開催状況

⑴　会場

メイン会場	場所	中央公園（旧広島市民球場跡地を中心とする区域）及びその周辺［広島市］
	期間	○集中展開期間　３月１９日（木）～　５月２４日（日）［６７日間］
		○連携イベント展開期間　５月２５日（月）～１１月２３日（月・祝）［１８３日間］ 【他会場の案内や観光・市町情報を提供、連携イベントを実施】
協賛会場	場所	国営備北丘陵公園［庄原市］、県立せら県民公園［世羅町］ 県立びんご運動公園［尾道市］、県立みよし公園［三次市］
	期間	３月１９日（木）～１１月２３日（月・祝）［２５０日間］
スポット イベント会場	場所	県内２３市町のスポットイベント会場
	期間	２０２０年に開催する各スポットイベントの実施期間（１２月３１日まで）

⑵　目標来場者数及び実績

区分	目標	実績	備考
メイン会場	１６０万人	２９万人	集中展開期間：１４２，０００人 連携イベント展開期間：１４４，３００人
協賛会場	８０万人 （対前年来場者増加数）	▲５２２万人 （対前年来場者増加数）	来 場 者 数：７５９，４００人
スポット イベント会場			来 場 者 数：３，７８７，１００人 （予定２０１のうち開催１１５）

⑶ 事業費

事業費は、協賛会場及びスポットイベント会場費を除き、当初、主催者負担金による概ね１２億円としていたが、約１１億８千７百万円となる見込みである。

（収入及び支出は下表参照）

【収入】（見込額）

項　　目	金額（百万円）	主な内訳
負担金	１，１９９	主催者負担金
協賛金・その他	７７	協賛金、自治体出展花壇負担金等
合　　計	１，２７６	

【支出】（見込額）

項　　目	金額（百万円）	主な内訳
当初計画どおり実施するもの	１，１９９	メイン会場の整備・運営及び展示出展、プレイベントの開催等
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施できなかったもの	▲８９	オープニングセレモニー及び開会式、全国都市緑化祭、集客・交流イベントの実施等
新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として実施したもの	３	消毒液の設置、検温の実施、飛沫防止等
来場機会消失に対して効果促進等のために新たに実施したもの	７４	メイン会場の延長展示、フェア紹介映像の制作・配信、花緑イベントの実施等
合　　計	１，１８７	

※金額は現時点での見込であり、今後、変動する。

３　成果

○　ひろしまフェアの開催を通じて、広島ならではの多彩な花や緑、伝統文化等の地域資源の素晴らしさを再認識するとともに、公園などのオープンスペースを花や緑で彩りを加えることによりにぎわいと華やぎの空間を構築し、花や緑の力やその大切さを実感していただく機会を提供できた。

○　ひろしまフェアを契機として、県内各地のイベントが花や緑等でブラッシュアップされるとともに、県内一円に花と緑をつなぎ手とする新たな交流と絆が育まれ、おもてなしの心と笑顔の「わ」を広げていく気運が醸成された。

○　県内外の自治体、企業・団体及び学校等の様々な主体が連携し、広島ならではの「花と緑のおもてなし」を繰り広げることにより、地域の豊かなライフスタイルの創造や豊かな地域づくりの担い手の育成に寄与することができた。

○　戦災・災害等から緑豊かに復興した広島の姿や復興の歴史を知ることにより、花や緑等を通じて平和の尊さを体感し、世界恒久平和の実現を含む「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」の達成に向けた市民意識の啓発に貢献した。

４　今後の取組

ひろしまフェアの成果を継承しつつ、これからも花と緑にあふれ、景観も人の心も温かく美しいまち「広島」の実現を目指して、引き続き、主催者・共催者である国、県及び県内２３市町と連携し、都市緑化の推進に向けた実効性のある取組の展開を図る。

資料２

第３７回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会
第　４　回　総　会

議事（書面表決）

頁

○　議案第１号：令和２年度事業報告（案）について・・・・・・・　１

○　議案第２号：令和２年度収支決算（見込）について・・・・・・　７

○　議案第３号：残余財産の処理（案）について・・・・・・・・・　８

○　議案第４号：第３７回全国緑化ひろしまフェア実行委員会の
解散（案）について・・・　９

議案第１号

令和２年度事業報告（案）について

１　会議の開催

令和３年１月２０日（水）に開催を予定していた実行委員会第４回総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急措置として開催を中止し、書面表決により議事の議決を行った。

２　メイン会場【中央公園（旧広島市民球場跡地を中心とする区域）及びその周辺】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するため、行催事等の見直しのほか、アルコール消毒液の設置や会場内が混雑する場合の入場制限等の感染防止対策を実施することとし、あらかじめ国の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議構成員等の専門家による感染リスク評価を確認した上で、「ひろしま百景花壇」や「未来に向けた思い出年表」等の展示・出展を当初の計画どおり実施した。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出や移動の抑制による来場機会消失を補うため、会場撤去を段階的に実施することとし、花壇等の展示期間を延長した。

さらに、フェア終了後、会場の周囲を囲う立体花壇「はなのわ」を残し、仮設建築物や花壇等を撤去した。

［別紙：メイン会場の展開　参照］

⑴　開場期間及び入場者数

区分	期間	入場者数
集中展開期間	３月１９日～　５月２４日（６７日間）	１４２，０００人
連携イベント展開期間※	５月２５日～１１月２３日（１８３日間）	１４４，３００人
計	３月１９日～１１月２３日（２５０日間）	２８６，３００人

※他会場の案内や観光・市町情報を提供、連携イベントを実施

⑵　行催事等の見直し

区分	行催事	実施 予定日	対応	対応の説明
公式行事	内覧会（関係者・地元住民）	３月１７日	実施	参加者が限定されるため実施
	オープニングセレモニー	３月１９日	中止	多数の人が参加するため中止
	開会式	３月１９日	中止	多数の人が参加するため中止
	節目セレモニー （来場５０万人等）	未定 （３回程度）	中止	多数の人が参加するため中止
	閉会式	１１月２３日	実施	参加者を限定して実施
	全国都市緑化祭	４月上旬	中止	多数の人が参加するため中止
主催者催事 （シンポジウム）	都市緑化シンポジウムｉｎ広島	４月１８日	延期	屋内で多数の人が参加するため延期（１０月１７日参加者を限定して実施）
	都市緑化シンポジウムｉｎ世羅	６月６日	延期	屋内で多数の人が参加するため延期（９月１９日参加者を限定して実施）
	都市緑化シンポジウムｉｎ庄原	９月２７日	実施	参加者を限定して屋外で実施
集客イベント	ステージ催事	３月１９日 ～５月２４日	中止	多数の人が参加するため中止
	メディアタイアップ催事			
交流イベント	市町の日	３月１９日 ～５月２４日	一部実施	飲食の提供や物販については中止
	花と緑のワークショップ・展示会	３月１９日 ～５月２４日	中止	相互接触のおそれがあり中止
	はなのわガイドツアー	３月１９日 ～５月２４日	中止	相互接触のおそれがあり中止
	フィールド催事（遊び体験）			
	復興催事（被爆樹木ガイドツアー）			
会場運営	飲食の提供	３月１９日 ～５月２４日	中止	相互接触のおそれがあり中止
	物販			

３　協賛会場及びスポットイベント会場

⑴　協賛会場【国営備北丘陵公園・県立せら県民公園・県立びんご運動公園・県立みよし公園】

各協賛会場では、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国営備北丘陵公園は４月１８日から５月１３日まで全面閉園し、また、県立３公園は３月１９日から５月２４日まで屋外展示を残してイベント等を中止したが、国及び県において、適切な感染防止対策を実施した上で、周辺のスポットイベント会場等の情報発信コーナーを設置するとともに、花壇による花の演出やシンボルディスプレイの設置、５３のイベントを開催した。

期間中、国営備北丘陵公園は２８４，２００人、県立３公園は４７５，２００人の来場があった。

⑵　スポットイベント会場【県内２３市町】

開催を予定していた２０１のスポットイベントについては、それぞれの特性に応じて各主催者が行催事等の見直しと適切な感染防止対策を実施した上で、８６は中止となったが、１１５が開催され、期間中、３，７８７，１００人の来場があった。

また、県内一円のスポットイベント関係者が参加する「はなのわ会議」のテーマ別会議を県内各所で４回開催（令和元年度：６回、計１０回）するとともに、第２回全体交流会を１１月２８日に開催した。

さらに、スポットイベント同士の連携促進や県内一円での回遊と交流を生み出すことを目的として、会場から次の会場へ生花のバトンをつないでいく「はなのわリレー」（令和元年度：２回、令和２年度：９回、計１１回）のほか、「はなのわスタンプラリー」（参加者：１，３３６人）を実施するとともに、季節ごとのガイドブック（夏号・秋号）を発行した。

４　展示、出展

実行委員会が展示する「はなのわ」や「ひろしま百景花壇」（ひろしま風景ゾーン）のほか、次表のとおり、県内外の自治体、企業・団体及び学校等から、１４２区画の花壇や庭園の出展をいただいた。

出展名称 （出展場所）	出展団体	区画数（面積）
ひろしまお祭りガーデン （ひろしま風景ゾーン）	県及び県内２３市町	２４区画（4.9 ㎡）
わがまち自慢花壇 （はなのわ）	県及び県内２３市町 （第１弾：7/4～9/13、第２弾：9/19～11/23）	計４８区画（4.9 ㎡） （２４区画×２）
にっぽんピースガーデン （希望と思い出ゾーン）	県外の１７自治体 県　　：長野、静岡、岡山、鳥取、島根 （５） 政令市　：札幌、仙台、横浜、川崎、相模原、 （１２）　静岡、浜松、神戸、岡山、北九州、 福岡、熊本	４区画（20 ㎡） １３区画（13.8 ㎡）
高校生出展庭園 （希望と思い出ゾーン）	造園系科目のある県内高等学校（西条農業・庄原実業） 及び 高校生を対象とする全国造園デザインコンクール特別賞受賞校（京都府立農芸高等学校）	３区画（20 ㎡）
ひろしま未来ガーデン （森のガーデンゾーン）	５０の企業・団体	１９区画（12 ㎡） ３１区画（20 ㎡）

５　行催事

公式行事である「閉会式」を開催したほか、主催者催事である「都市緑化シンポジウム」を３回開催してオンライン配信も行った。

また、交流イベントとして、市町の日「大崎上島町」及び「広島市」を実施し、観光ＰＲを行った。

さらに、ひろしまフェアの基本理念及び基本方針に賛同した民間団体等の主催による連携イベントを、メイン会場及び県内各所で１６回開催した。

区分	行催事	実施日	主な内容・テーマ	来場者数
公式行事	閉会式 （広島県立総合体育館大アリーナ）	１１月２３日	各種表彰式、はなのわ宣言、 フェア旗引継ぎ式等	３５０人
主催者催事 （シンポジウム）	都市緑化シンポジウムｉｎ世羅 （甲山農村環境改善センター）	９月１９日	自然を活かした持続可能な地域づくり ～豊かな里山のシンボル“ヒョウモンモドキ”を例として～	１００人
	都市緑化シンポジウムｉｎ庄原 （国営備北丘陵公園）	９月２７日	花の持つ力 ～「花と緑のまちづくり」の魅力と可能性～	１００人
	都市緑化シンポジウムｉｎ広島 （広島市南区民文化センター）	１０月１７日	花と緑が魅せるひろしまの未来	２００人
交流イベント （市町の日）	大崎上島町（メイン会場）	４月１０日	観光パンフレット・チラシの配布	２，０００人
	広島市（メイン会場）	４月１１日	広島広域都市圏ＰＲ	１，０００人
連携イベント （主なもの）	装エン祭 しばdeねころぶマルシェ ３９！１１８７！！（メイン会場）	７月２３日～ ７月２６日	花緑・手作り雑貨・飲食販売	５，０００人
	花れて輪になれ　えがおひろしま ２０２０（メイン会場）	１０月３１日～ １１月１日	マルシェ､ヨガ・ステージイベント等	９，１００人
	はなのわマルシェ（メイン会場）	１１月２１日～ １１月２３日	花緑・雑貨・飲食販売、 大道芸、ステージイベント等	２１，５００人

６　協働推進

⑴　メイン会場

特別支援学校の児童・生徒が育成した花苗をプランターで飾るとともに、県内の造園・花き･修景団体でつくる協議会が「たねダンゴ」づくりとメイン会場への植え付けを行った。

また、県内の小中学生が、県及び県内２３市町をＰＲする「わがまち自慢花壇」のデザイン作成を行った。

「わがまち自慢花壇」展示期間
第１弾：令和２年７月　４日（土）～　９月１３日（日）
第２弾：令和２年９月１９日（土）～１１月２３日（月・祝）

⑵　協賛会場

協賛会場においては、特別支援学校の児童・生徒が育成した花苗を飾るとともに、公園利用者や地域の方が「たねダンゴ」づくりや花苗の植え付けを行った。

また、県立三次中学校・高等学校の美術部が製作した三次をテーマにした色鮮やかな和傘を県立みよし公園のしょうぶ園に飾り、これまでにない魅力的なしょうぶ園を楽しんでいただいた。

7　会場運営

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、会場内各所にアルコール消毒液の設置、スタッフのマスク着用、テーブル・イスの距離確保、会場内巡視、場内サイン・アナウンス・ホームページ等による注意喚起など、適切な対応を行った。

その上で、安全、安心、快適な会場とするため、警備、救護、清掃、危機管理体制の構築等の会場管理を行うとともに、情報センターの設置、車椅子やベビーカーの貸出サービス、ベビールームの設置、拾得物・迷子対応等を行った。

また、安全かつ円滑な会場アクセスのため、公共交通機関での来場を案内するとともに、障害者駐車場や駐輪場、タクシー乗降場及び誘導サイン等を設置・運用した。

なお、メイン会場の総合案内所・インフォメーション２３においては、メイン会場の案内はもとより、協賛・スポットイベント会場の最新情報や県内各地の観光・市町情報を発信した。

8　観客誘致、広報宣伝

県内外からの来場促進と、県内全域で回遊と交流を生み出すことを目指し、効率的な観客誘致と広報宣伝を展開した。

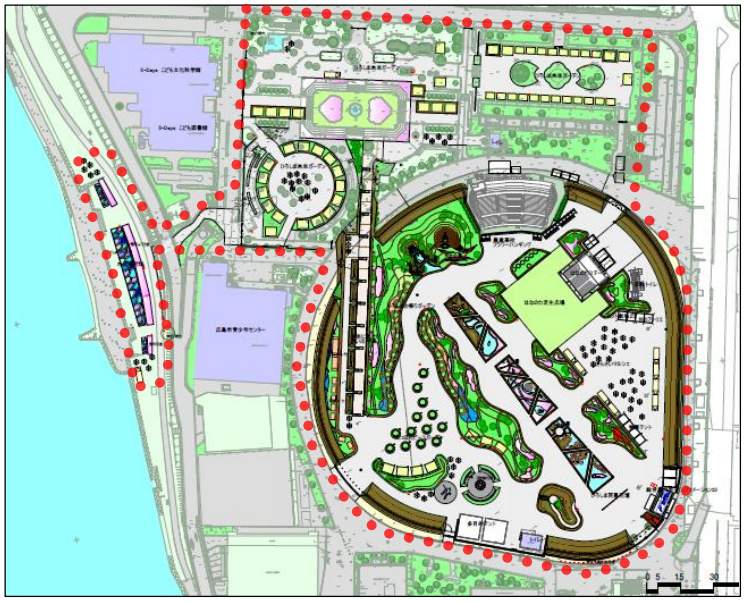
今後、フェアの紹介映像を含む、開催準備から閉会までをまとめた公式記録を作成する。

項目	実施内容等
キャンペーン	県内で開催されるイベントにおいて、ＰＲグッズの配布などを行い、ひろしまフェアを広くＰＲした。 さらに、ひろしまフェアの開催理念を広く周知するとともに、今後の都市緑化に寄与するため、動画を制作し動画配信サイトで配信した。
イメージ戦略	公式テーマソングのポルノグラフィティの楽曲「一雫（ひとしずく）」を各イベント会場のＢＧＭやテレビＣＭ・ラジオＣＭに起用した。
広報ツール	各展開期間に合わせ、メイン会場マップを作成し、会場の見どころや植物の種類を紹介した。
メディア等の媒体活用	ＳＴＵ４８が出演するＰＲ動画のインターネット配信やデジタルサイネージ上映を展開するとともに、タウン誌への広告掲載等を実施した。 また、県内及び隣県（山口、島根、鳥取、岡山、愛媛）へのテレビＣＭ、県内へのラジオＣＭを放送するとともに、新聞広告を６回掲載した。
広告物設置	県及び県内２３市町庁舎等に加え、広島港、広島バスセンターの協力をいただき、広告物を掲出した。 また、県内造園団体加盟企業及び広島花き商業協同組合加盟店舗へ掲出を依頼した。 さらに、各公共交通機関等への広告物掲出を実施した。
情報発信	公式ホームページ及び公式ＳＮＳ（Facebook、Twitter、Instagram）を活用した情報発信を実施した。 また、令和元年１１月に作成したＰＲ動画を、公的媒体や動画配信サイトで配信した。
スポットイベント連携	スポットイベント情報及び周辺観光スポット等を掲載したガイドブック（春号、夏号、秋号）を発行するとともに、新たなツアー企画及びレンタカー連携を旅行会社等に働き掛けた。
参加協賛	企業・団体から１００件の協賛をいただいた。

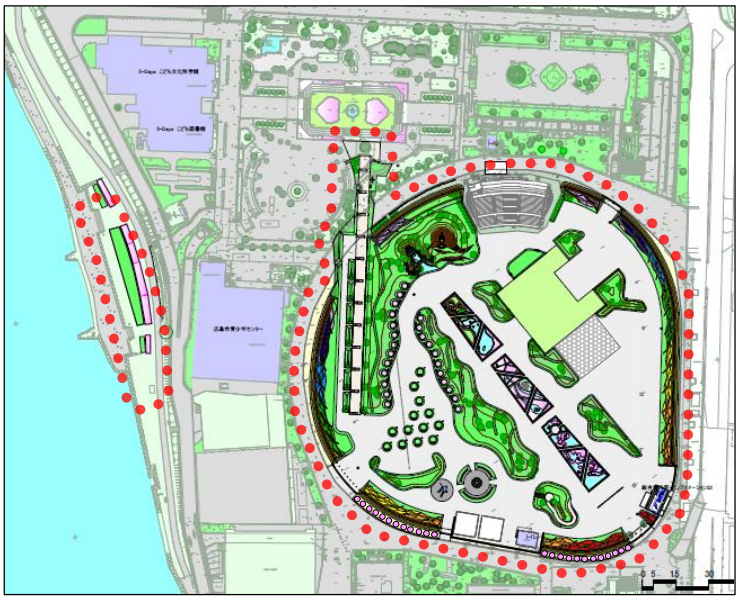
別　紙

メイン会場の展開

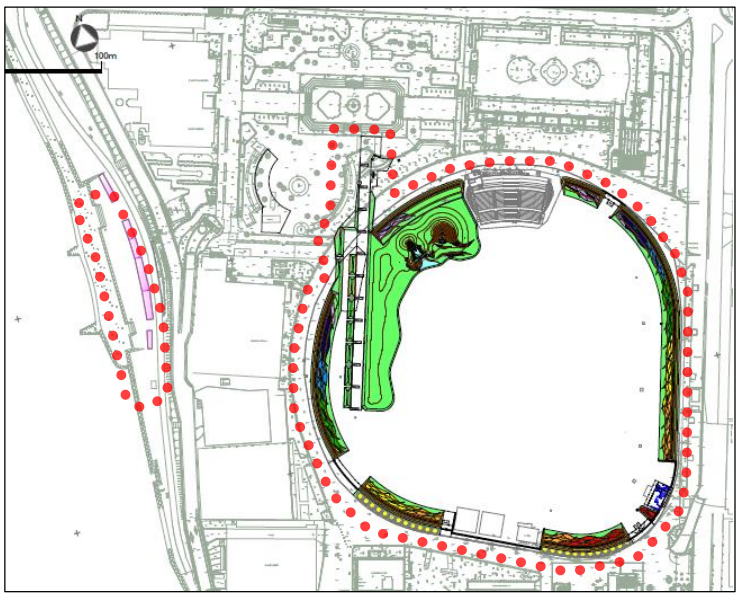
集中展開期間
（令和２年３月19日~５月24日）



夏の連携イベント期間
（令和２年7月10日~8月16日）



秋の連携イベント期間
（令和２年10月2日~11月23日）



議案第２号

令和2年度収支決算（見込）について

収支決算見込

収入金額	701,042,613 円
支出金額	611,591,613 円
差　　引	89,451,000 円

【収　入】　（単位：円）

項　目	金　額	主な内容
負担金	395,677,000	
主催者負担金	365,177,000	
自治体出展花壇負担金	30,500,000	14 自治体
協賛金	10,760,000	企業等協賛金
出店料等	▲2,252,000	
繰越金	296,856,069	
その他	1,544	利息収入
合　計	701,042,613	

【支　出】　（単位：円）

項　目	金　額	主な内容
総務費	14,330,046	
事業費	597,261,567	
行催事費	42,290,174	閉会式、シンポジウム等の実施運営
広報宣伝費	119,467,287	メディア等を活用した広報宣伝
スポットイベント 連携事業費	36,903,610	ブラッシュアップ支援 スタンプラリー
協働推進費	41,373,228	協働花壇づくり
会場建設費	214,538,629	植栽・花壇施工、花壇等の維持管理
展示出展費	25,430,660	出展作品の維持管理
会場運営費	117,257,979	会場運営、駐車場管理
合　計	611,591,613	

なお、収支金額は、現時点の見込であり、今後、変動する。
また、収入金額と支出金額の差額については、第３７回全国都市ひろしまフェア実行委員会会則第２７条の規定に基づき、県及び県内２３市町に返還する。

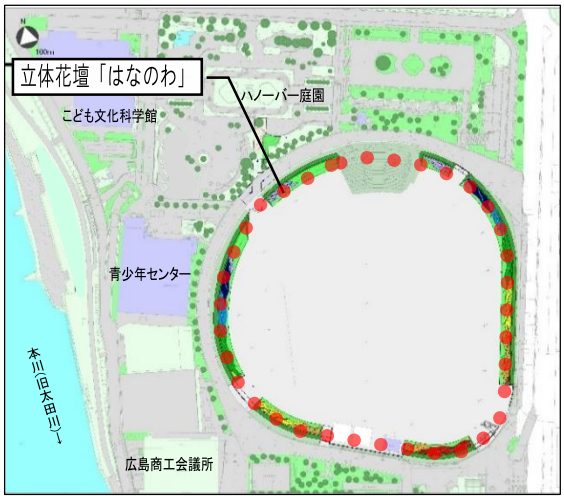
議案第３号

残余財産の処理（案）について

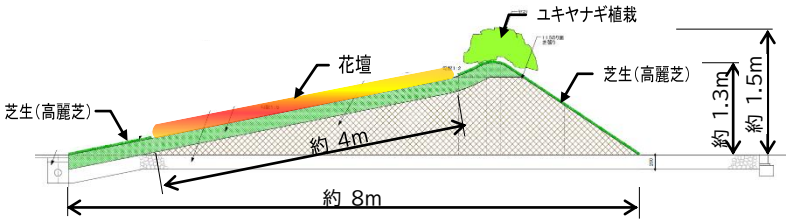
第３７回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会の解散に伴い生じる残余財産について、第３７回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会会則第２７条の規定に基づき、以下のとおり処理する。

１．収入金額と支出金額の差額	…	負担金額の割合に応じて各自治体に返還
２．メイン会場立体花壇「はなのわ」	…	広島市へ引継

【立体花壇「はなのわ」】



「はなのわ」標準断面図



【参考】第３７回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会会則（抜粋）

（残余の財産）
第２７条　実行委員会が解散するときに存する残余財産は、総会の議決を経て処理する。

議案第４号

第３７回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会の解散（案）について

本実行委員会は、第３７回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会会則第２条の目的を達成したことから、同会会則第２６条第１項の規定に基づき、令和３年３月３１日付けで解散する。

【参考】第３７回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会会則（抜粋）

（目的）

第２条　実行委員会は、平成３２年に広島県内において、第３７回全国都市緑化ひろしまフェア（以下「フェア」という。）を開催し、都市緑化に関する意識の高揚、知識の普及等を図ることにより、都市緑化を推進し、もって緑豊かな潤いのあるまちづくりに寄与することを目的とする。

（解散）

第２６条　実行委員会は、第２条の目的を達成したときは、総会の議決を経て解散する。

２　前項の規定にかかわらず、実行委員会は、清算の目的の範囲内において、その清算の結了に至るまではなお存続するものとみなす。